

令和3年度 安八町内部統制評価報告書

～ 「あんぱち業務見える化プラン」の取り組みについて ～

1 取り組みの概要

(1) 背景とこれまでの経過

平成29年6月9日公布「地方自治法の一部を改正する法律」により、都道府県および政令指定都市については、令和2年4月より内部統制への取り組みが義務付けられ、その他の市町村において努力義務とされた。

安八町（以下「当町」という。）においては、以前よりその重要性について認識していたことから、平成30年度より「あんぱち業務見える化プラン」として取り組みを開始し、今年度は4年目となる。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種に関するリスク管理

全国的な新型コロナウイルス感染拡大を抑えるため、国家的プロジェクトとして新型コロナウイルスワクチン接種（以下「ワクチン接種」という。）が強力に進められることとなった。当町ではワクチン接種に伴うリスクの管理を最重要テーマと捉え、万全の体制で取り組んだ。5月のワクチン接種開始に先立ちワクチン接種リハーサルを実施。あらゆる観点からリスクを洗い出すために、福祉課、保健センター、危機管理室による検討会を開催した。洗い出したリスクは新型コロナワクチン接種リスク分析対策シートとして整え、対応策を明確にした。



【新型コロナウイルスワクチン接種会場】

また、ワクチン接種事業の進行と同時にリスクの予見と対応策の検討を常に行いながら、現在まで大きなトラブルを起こすことなく推移し、3回目のワクチン接種を推進中である。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策に関連するリスクの洗い出し

通常業務に関して、新型コロナウイルス感染拡大に繋がるあらゆるリスクを洗い出し、感染拡大防止対策に反映することによって、通常業務に関連したクラスターの発生を防止した。

(4) ITに関連するリスクへの対応

今年度は自治体DXの推進に伴って、今後、急速に進むと思われるIT化に伴うリスクをコントロールするため、業務に使用されているシステムのITシステムチェックシートを作成し、ネットワークへの接続状況、ハードウェアとソフトウェアの更新状況、バックアップの有無、トラブル発生時の対応体制等について確認を行った。

(5) 通常業務に関連した継続的な取り組み

ア 平成30年度から今年度まで継続してリスクの洗い出しと対策を行った。新たなリスクの予見に取り組み、既に対策を講じたリスクについても見直すべきものは見直し、対策を強化した。

イ 令和元年度から引き続き「3点セット」の作成による業務の見える化（標準化）を進め、詳細なリスクの明確化と、具体化を図った。

ウ 推進事務局である危機管理室が各部門の現場に赴き、洗い出されたリスクに対する対策状況を確認する実地検証（モニタリング）を実施した。

(6) 取り組み日程

今年度の取り組みは以下の通り。

- 4月 ワクチン接種リハーサル
- 5月 ワクチン接種開始・3点セット対象業務の選定
- 7月 リスクの洗い出し
- 10月 ワクチン接種終了
- 11月 リスク対策の実施
- 12月～1月 実地検証（モニタリング）
- 2月 ワクチン接種3回目・監査委員による審査
- 3月 全員協議会での報告

2 新型コロナウイルスワクチン接種に関連するリスク管理

(1) 国家的プロジェクトとしてワクチン接種が強力に進められ、当町としては本年5月から10月までの約5か月間、計88回の集団接種を実施したところであり、現在は3回目のワクチン接種を推進中である。この事業は住民の健康生命を守る極めて重要な業務であることから、内部統制における最優先課題と捉え、リスク管理に取り組んでいる。



【岐阜県ワクチン接種準備会議（TV会議）】

(2) ワクチン接種に伴うリスクの洗い出しと対応策の検討

実際のワクチン接種開始に先立ち、4月にはワクチン接種のリハーサルを2回実施し、想定されるリスクを洗い出すとともに、福祉課、保健センター、危機管理室による検討会を実施、洗い出したリスクの対応策を検討した。その対応策については、町長以下幹部を交えた検討会において更に検討を加え、5月19日からのワクチン接種本番を迎えたものである。

リスク分析対策シート（新型コロナウイルスワクチン接種）

令和3年度版 あんばち業務見える化プラン リスク分析対策シート(新型コロナウイルスワクチン接種)									
新型コロナウイルス感染症対策									
リスクの洗い出し									
リスク発生	該当部署	実施番号	実施名	実施日	リスク発生	リスク発生	リスク発生	リスク発生	モニタリング
中継給電 故障	福祉課 保健センター	94(福祉) 9403-08-05 (協議)	新型コロナウイルス ワクチン接種	7月20日 7月21日 7月22日	福祉課 保健センター 危機管理室	協議運営	緊急事態宣言(令和3年8月)を受けて、保健センターをさらに強化するべきである。調整時に参加した人を随時入れよとの旨。	電力供給に事象した人は、入場せずに待っていたり、トイレ以上に早く準備した人注意で待機していたり。	電力供給に事象した人は、入場せずに待っていたり、調整時に参加した人は、入場せずに待っていたり、調整時に参加した人は、入場せずに待っていたり。
中継給電 故障	福祉課 保健センター	94(福祉) 9403-08-05 (協議)	新型コロナウイルス ワクチン接種	7月20日 7月21日 7月22日	福祉課 保健センター 危機管理室	協議運営	緊急事態宣言(令和3年8月)を受けて、保健センターをさらに強化するべきである。調整時に参加した人を随時入れよとの旨。	スタッフが全員にフェイスシールドを装着させた。	スタッフが全員にフェイスシールドを装着させた。
中継給電 故障	福祉課 保健センター	94(福祉) 9403-08-05 (協議)	新型コロナウイルス ワクチン接種	7月20日 7月21日 7月22日	福祉課 保健センター 危機管理室	協議運営	緊急事態宣言(令和3年8月)を受けて、保健センターをさらに強化するべきである。調整時に参加した人を随時入れよとの旨。	フコシ形式を取りやめ、確認窓口形式にした。	フコシ形式を取りやめ、確認窓口形式にした。
中継給電 故障	福祉課 保健センター	94(福祉) 9403-08-05 (協議)	新型コロナウイルス ワクチン接種	7月20日 7月21日 7月22日	福祉課 保健センター 危機管理室	協議運営	電力に異常を察知してチェックしているが、後の発着量から考えようとするのは電力供給の基準に合わせない。	電力に異常を察知してチェックしているが、後の発着量から考えようとするのは電力供給の基準に合わせない。	電力に異常を察知してチェックしているが、後の発着量から考えようとするのは電力供給の基準に合わせない。

(2) クラウド化の進展

全体のほぼ半数に当たる28種類のシステムはすでにクラウド型システムに移行されていた。クラウド型システムは常に一定レベルのセキュリティを確保できる。また、バージョンアップなどを要せずにシステムは最新の状態を維持でき、バックアップの必要性もなくなるため、今後もクラウド化の傾向は進むと考えられる。ただし、クラウド型システムは通信に支障が出るとシステムそのものが利用できないという弱点もある。事実、ハートピア安八では図書貸出システムが今年度よりクラウド型に移行したが、昨年11月に通信エラーによって2時間ほどサーバーとの通信が途絶した。あらかじめこうしたトラブルへの対応策が準備されていたので事なきを得たが、クラウド型が万能ではない事の証左であった。

※ クラウドとはユーザーがインフラやソフトウェアを持たなくても、インターネットを通じてサービスを必要な時に必要な分だけ利用する考え方。

(3) オペレーティングシステムの利用状況

53種類のシステムのうち、ウィンドウズ7（セブン）が13種類のシステムにて使用されていることが明らかとなった。ウィンドウズ7（セブン）はオペレーティングシステムの供給元であるマイクロソフト社のサポートが終了しており、サイバー攻撃への備えが万全とはいえない。順次、ウィンドウズ10（テン）等への移行が必要である。

(4) トラブル発生時の対応

10種類のシステムについてトラブル発生時の手順が明確になっていなかった。トラブル対応マニュアルの完備は難しいとはいえ、少なくともトラブル発生時の連絡先は明確にしておくことを対象部署に指導した。

5 通常業務に関連した継続的な取り組み

(1) 通常業務のリスクの洗い出し、対応策の策定と実施、実地検証（モニタリング）結果の報告については、例年通り「リスク分析対策シート」を用いて取り組んだ。通常業務の中でも新型コロナウイルスに関連するリスクについては洗い出しと対策に特に傾注し、別表記とした。

リスク対策分析シートは部門ごとに作成し、昨年度に行ったリスクを再度洗い直す作業に全職員が取り組んだ。シートには「リスクの見直し」「新たなリスク」「消滅したリスク」を明記することで、PDCAが遂行できる形式とした。

※PDCAとは、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すこと。

リスク分析対策シート（通常業務）

The image shows a detailed risk analysis table with multiple columns including Risk ID, Risk Category, Risk Description, Priority, and Status. Annotations in Japanese provide context for specific risks, such as the impact of COVID-19 on operations and the importance of maintaining up-to-date risk assessments. The table is titled '令和3年度版 あんばち業務見える化プラン リスク分析対策シート'.

(2) リスク数

ア 総数

リスク総数は1,360件となり、新規事業等により新たなリスクが予見され、昨年度の1,351件より増加した。新たなリスクが相当数予見されているものの総リスク数が微増にとどまったのは、2つのこども園が休園になったことによるものである。

イ 部門別のリスク分布

総務課、税務課、保健センター、住民環境課、産業振興課におけるリスク件数が多いが、これは業務の内容が多岐に渡っているためである。

ウ 会社法に基づいたリスク分布は以下の通り。

リスクの総数

部門名		業務の有効性	法令等の遵守	財務報告の信頼性	資産の保全	経営体リスク	計
1	議会事務局	14	2	1	5	2	24
2	総務課	101	56	25	12	15	209
3	企画調整課	33	19	8	3	4	67
4	税務課	61	46	9	4		120
5	会計室	3		11	5		19
6	福祉課	48	11		1	3	63
7	保健センター	83	15	7	7	4	116
8	結こども園	9	12	4	2	9	36
9	中央こども園	8	10	1	1	9	29
10	ふたばこども園	8	8	1		9	26
11	牧こども園	10	7	4		9	30
12	あすなろの園	4	8	3		9	24
13	安八温泉	1	5		5	12	23
14	住民環境課	52	56	22	18	1	149
15	建設課	47	7	5	4	11	74
16	産業振興課	35	50	1		5	91
17	学校教育課	23	13	15	4	10	65
18	生涯学習課	2	2	7	2	14	27
19	ハートピア安八	31	10	7	3	5	56
20	総合体育館	50	10	10	1	12	83
21	給食センター	13	1	3	5	7	29
計		636	348	144	82	150	1360

エ リスクはPDC Aを明確にするため、登録時に「対策完了」「未対策」「新たに予見」に分類した。

部門名		対策完了	未対策	新たに予見	計
1	議会事務局	21	2	1	24
2	総務課	193	11	5	209
3	企画調整課	65	0	2	67
4	税務課	117	2	1	120
5	会計室	19	0	0	19
6	福祉課	59	1	3	63
7	保健センター	111	0	5	116
8	結こども園	31	0	5	36
9	中央こども園	26	0	3	29
10	ふたばこども園	22	0	4	26
11	牧こども園	27	0	3	30
12	あすなろの園	21	0	3	24
13	安八温泉	12	7	4	23
14	住民環境課	146	0	3	149
15	建設課	64	3	7	74
16	産業振興課	78	12	1	91
17	学校教育課	53	2	10	65
18	生涯学習課	21	1	5	27
19	ハートピア安八	54	0	2	56
20	総合体育館	83	0	0	83
21	給食センター	27	2	0	29
計		1250	43	67	1360

(3) リスク対策の結果

各部門で洗い出されたリスクに対して10月に対策を立てて11月までに実施した。その結果は以下のとおり。

リスク対策の実施状況

組織名		昨年度までに 対策完了	今年度 対策完了	今年度 対策強化	未対策	リスク消滅	計
1	議会事務局	21	1		2		24
2	総務課	193	12		4		209
3	企画調整課	65	2				67
4	税務課	117	1		2		120
5	会計室	9		10			19
6	福祉課	58	3	1	1		63
7	保健センター	111	5				116
8	結こども園	31	5				36
9	中央こども園	26	3				29
10	ふたばこども園	22	4				26
11	牧こども園	27	3				30
12	あすなろの園	20	3			1	24
13	安八温泉	10	3	2	8		23
14	住民環境課	146	3				149
15	建設課	63	8	1	2		74
16	産業振興課	78	7		6		91
17	学校教育課	53	12				65
18	生涯学習課	19	6	2			27
19	ハートピア安八	51	2	3			56
20	総合体育館	81		1		1	83
21	給食センター	27	2				29
計		1228	85	20	25	2	1360

(2) 3点セット作成の対象業務と対策の結果

ア 3点セット作成の対象とした業務は下表のとおり21の業務である。これにより、業務を細分化し、それぞれの手順において想定されるリスクを洗い出した。なお、ここに記載した105件のリスクは細分化されたものであるため、前に示した1,360件のリスクには算入していない。

部門名	業務名	作業数	リスク数	統制数	
1	議会事務局	議員研修での負担金支払い	8	4	4
2	総務課	郵便物の受付・仕分けに関する事	17	6	6
3	企画調整課	移住定住に関する事	5	6	6
4	税務課	年金特徴のデータ連携を毎月処理する	7	5	5
5	会計室	支出事務における債務の確定及び適法請求書の具備要件の審査	7	5	5
6	福祉課	生活困窮者の相談支援業務	9	3	3
7	保健センター	特定健診の結果発送に関する事	16	7	7
8	結こども園	間食業務	5	5	5
9	中央こども園	研修会申し込み業務	5	3	3
10	ふたばこども園	延長保育業務	6	5	5
11	牧こども園	用品購入業務	5	3	3
12	あすなろの園	支出命令書の作成業務	4	4	4
13	安八温泉	入館料の收受と鍵の交換	10	6	6
14	住民環境課	DV支援措置に関する事	14	4	4
15	建設課	水道事務所故障対応業務	12	5	5
16	産業振興課	農業委員会親睦会通帳の管理	12	4	4
17	学校教育課	学校施設の整備、管理及び施設台帳に関する事	4	5	5
18	生涯学習課	施設予約	5	1	1
19	ハートピア安八	図書館窓口サービス業務（返却処理）	8	6	6
20	総合体育館	激励申請業務（受付～激励会）	21	13	13
21	給食センター	給食コンテナ配送車の管理	5	5	5
計			185	105	105

イ 3点セットによるリスク分析の好事例として、総合体育館による激励申請業務があげられる。これは地区予選を勝ち抜いて県以上の大会に出場する選手に対して、激励会を開催し激励金を授与する事務である。一見すると単純な事務であるが、予選が行われたのちに上位の大会に出場するまでの日数が短く通常の会計処理を経ては激励会までに現金を準備する時間的余裕がないうえ、現金は新札で金種を指定して準備しなくてはならない。また、常に複数の激励会の準備が並行して進められており、混乱を生じやすい等のリスクが内在していることが3点セットの作成で見える化された。対策としては、会計室から現金を借り出して後日精算するという業務手順が確立されている。しかし変則的な事務手続きであるため経験を要するという課題があった。今回、3点セットを用いて業務が見える化されたことで担当者間の業務引き継ぎがスムーズに行えるようになった。

7 実地検証（モニタリング）

(1) 各部門から報告された対策状況を確認するため、令和3年12月22日から令和4年1月21日の間、推進事務局である危機管理室の職員が現場に赴き、実地検証（モニタリング）を実施した。例年どおり財務事務執行にかかる業務を中心に検証したが今年度は新型コロナウイルス感染症対策にも主眼を置いた。また、3点セットを作成した業務は特に詳細に確認を行った。検証の対象は63件であり、危機管理室からは対策状況の確認とアドバイスを行い、その結果を踏まえて町長から指示がなされた。



【牧こども園での実地検証（モニタリング）】

(2) 実地検証（モニタリング）総括表 【網掛けは財務事務執行にかかる業務】

議会事務局（令和4年1月14日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
13	議員研修時の費用について公費と私費を混同。	安八町議員研修参加費助成基準の策定による基準の明確化。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
26	議会開催が原因によるクラスターの発生。	パーティション設置、マスク着用、体温測定、手指の消毒。休憩時の換気。	ネット中継の検討を。	確実に実施されている。

総務課（令和4年1月14日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
101	必要な交通安全設備の未設置。	課内職員全員で情報共有して要望事項を一元管理。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
201	押印廃止が不必要なものまで廃止。	各部門への説明会を開催、廃止基準の明確化。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
212 213	町長回覧した文書の、担当部署への未返却。	文書右上に担当部署名印を押し管理。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

企画調整課（令和4年1月19日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
5	都市計画区域見直しにおける、情報漏洩、契約内容の誤り、事務の遅れや漏れ。	課内での書類の多重チェック。上位機関との情報共有。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
36	地方創生交付金事務における不適切な交付金の申請や事務処理の遅れ。	課内での書類の多重チェック。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
41	定住促進住宅取得助成金事務における個人情報の漏洩及び書類不備。	個人情報の厳重管理および課内での書類の多重チェック。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

税務課（令和3年12月23日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
11	確定申告会場でのクラスター発生。	感染症対策に加え、来場者の来場時間と連絡先の記録保存。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
25	データ処理を怠ることによる年金の特別徴収漏れ。	未対策。担当者が出勤できない場合の対応策が不明確。	作成した3点セットをマニュアルとした、代行者の明確化が必要である。	課題が残る。検討を。
73	軽自動車税の賦課誤り。	データ入力後のチェックリストによる確認。	確実に実施されているが、同姓同名によるミスには特に注意を。	確実に実施されている。
100	たばこ税の賦課、徴収漏れ。	財務会計入力時の入念な確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

会計室（令和4年1月12日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
5	支出事務における証拠書類の不備。	書類に不足等を確認した場合の担当者に対する指導。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
10	郵便振替に関する不適切な督促状の発行。	業務の年間スケジュールを作成、不適切な督促状発行の防止。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

福祉課（令和4年1月5日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
7	生活困窮者の自立支援・相談におけるトラブル。	複数職員での対応。県事務所、県社協との連携。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
30	学校給食費助成における給付額の誤り。	税務課提供の滞納リストによるデータの照合。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
36	こども園統合で廃止となった園舎への不法侵入など。	定期的な園の見回りを実施。	見回り記録の作成を。	課題が残る。検討を。
42	要介護認定業務の誤り。	各種研修会への参加。意見交換会の実施。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

保健センター（令和4年1月20日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
11	会計年度任用職員への旅費支払い誤り。	会計年度職員による出勤一覧表への押印と確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
113	特定健診におけるデータ照合および入力誤り。	3点セットで課題を整理。7つのリスクを洗い出して対応策を策定。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
114	3歳児健診におけるスポットビジョンを使用時の視力検査の誤り。	マニュアルを使用し、スタッフに使用方法を説明。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

結こども園（令和3年12月22日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
31	会計年度任用職員の超過勤務時間の報告誤り。	超過勤務報告書を作成後、任用職員による再確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
34	間食の発注誤り。	請求書到着後、即時処理。見積もり作成は12月に着手。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
38	新型コロナウイルス感染者が出た場合の初動誤り。	厚生労働省作成の感染症対策マニュアルに従った行動。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

中央こども園（令和3年12月23日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
28	会計年度任用職員の超過勤務時間の報告誤り。	超過勤務報告書を作成後、任用職員による再確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
29	各種研修会参加料の入金誤り	申込書の送信前に再確認の徹底。入金期日の確認徹底。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
31	新型コロナウイルス感染者が出た場合の初動誤り。	厚生労働省作成の感染症対策マニュアルに従った行動。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

ふたばこども園（令和3年12月22日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
9	園外保育における事故や怪我の発生。	事前に下見による危険箇所の把握。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
25	延長保育・長時間保育申込者把握における誤り。	名簿作成時、複数人で確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
30	新型コロナウイルス感染者が出た場合の初動誤り。	厚生労働省作成の感染症対策マニュアルに従った行動。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

牧こども園（令和3年12月24日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
22	児童個別記録票からの個人情報漏洩。	児童個別記録票の施錠管理	確実に実施されている。	確実に実施されている。
29	日用品発注の発注誤り。	即時処理、確認の徹底。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
31	新型コロナウイルス感染者が出た場合に初動の誤り。	厚生労働省作成の感染症対策マニュアルに従った行動。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

あすなろの園（令和3年12月26日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
2-2	備品購入時の支出命令書の作成。	複数人での確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
3-2	園児のアレルギーの発作への対処を誤る。	園児のアレルギーの把握。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
3-3	療育実務研修生からの個人情報情報の漏洩。	オリエンテーションでの指導。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
4-2	利用料金の国保連への請求誤り。	児童発達支援提供実績記録表との照合。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

安八温泉（令和4年1月5日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
3	収受した入館料の会計誤り。現金の窃取。	複数名での対応。日計、月計処理確認の徹底。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
6	券売機からの現金回収時の事故、犯罪。	閉館後に複数名での対応。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
11	新型コロナウイルス感染症対策。	入館日および入館時間の制限と入館人数の制限。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

住民環境課（令和4年1月18日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
16	在留外国人関連事務の誤り。	主任と副主任による徹底した確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
131	後期高齢者医療保険における保険料賦課・徴収業務の誤り。	主任、副主任による2重チェック。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
139	DV支援措置者の情報漏洩。	システムに制限をかけることにより閲覧・交付を制限。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

建設課（令和4年1月13日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
60	配水場の施設異常による大規模断水。	原因究明中。	原因究明中であることを確認した。	確実に実施されている。
66	下水道特別会計法に準じた複式会計化の誤り。	研修参加による職員のスキルアップ。業務の外部委託。	確実に実施されている。	課題が残る。検討を。

産業振興課（令和4年1月7日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
47	農業者年金現況届受付業務における誤り。	関係書類の確実な保管。書類チェックの徹底。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
54	農業委員会親睦会会計の不正処理。	月初の通帳残高確認。独自の支出命令書作成。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
61	農地法3条に係る許可事務の誤り。	入力結果リストのシステム出力作成。毎月の入力データチェック。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

学校教育課（令和4年1月18日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
18	学校施設の整備の遅れ、誤り。	学校からの要望を加味しての予算要望。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
33	教科書需要数・受取数の誤り。	各学校から提出されたデータの徹底した確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
66	ギガスクールで児童・生徒に配布したタブレット端末の紛失・故障。	紛失・故障等の発生を防ぐための指導徹底。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

生涯学習課（令和4年1月12日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
24	郡PTA連合会の不正会計。	支払い内容の入念な確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
26	確認不足による施設予約の重複。	3点セットを整備し、作業手順を確立。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
28	ワクチン接種会場としての公民館管理を怠ることによる事故発生。	職員間でのワクチン接種に関する情報の共有。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

ハートピア安八（令和4年1月7日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
29	職員間の物品貸出における未返却や返却遅れ。	備品借用申請書の作成。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
30-1	図書システムがダウンした場合の貸出業務停止。	通信の不具合であればスタンドアロンで対応。最悪の場合は手書きとハンディスキャナで対応。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
30-2	未返却者に対する督促の誤り。	既返却図書が確実にシステムに登録されるように2重チェックの励行。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

総合体育館（令和4年1月6日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
35	牧小学校区体育振興会会計の不正処理。	書類確認後の再確認。	通帳などを確認。確実に実施されている。	課題が残る。検討を。
57	激励事務における事務の誤り。	業務フローによる進捗状況の確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
74	施設予約のキャンセル時の返金処理の誤り。	システムおよび台帳への、変更経緯記録と確認。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

給食センター（令和4年1月11日実施）

番号	リスク	対応策	モニタリング	町長所見
22	ボイラーの点検不十分による故障。	定期的なメンテナンス。	確実に実施されている。	確実に実施されている。
29	給食コンテナ配送車の管理不十分。	日常の消毒の徹底。定期的なメンテナンス。	確実に実施されている。	確実に実施されている。

8 取り組みによる効果

- (1) 前述の通り、ワクチン接種に関連する315件のリスクの洗い出しと対策を行ったことにより、現在まで大きなトラブルを生じることなくワクチン接種を推進中である。

またワクチン接種を担当する部署だけでなく、役場全体が新型コロナウイルス感染症対策およびワクチン接種に係るリスクが自分たちの通常業務に潜んでいないかを見つめ直すことにより、組織全体でリスクへの対応策が講じられた。



【確定申告会場における感染症対策】

- (2) これまでの4年間の取り組みで、通常業務について

洗い出されたリスクは1,174件から1,360件へと増加した。これは新たな業務（事業）の発生と、業務の見つめ直しによって新たなリスクが予見されたことによるものである。また、未対策となっているリスクは202件から25件へと約10分の1にまで減少したことは評価できると考える。また、リスク総数については令和3年度より森部こども園と南條こども園が休園となっているため微増となったが、新しいリスクを予見する能力と意識が高まっていることは67件の新たなリスクが予見されたことから伺える。

リスク数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
リスク総数	1,174	1,300	1,351	1,360
未対策リスク	202	92	59	25

- (3) 3点セット（業務手順書、業務フロー、リスクコントロールマトリックス）の作成によって事務手続きを細分化して見える化し、リスク対策を施す手法が現場に定着し、今年度は事務局からの指導を要さずに業務の分析と資料作成が行える部署が多かった。加えて複雑な事務を3点セットでマニュアル化し、標準化を進めようという機運が高まってきた。（例：保健センター 特定検診業務など）
- (4) ミスをしないように注意するといった抽象的な精神論ではなく、業務を分析してリスクの対応策を施す手法が浸透し、具体的に業務を見つめる姿勢が定着してきた。

9 今後の課題

- (1) ワクチン接種事業は、感染症が第6波を迎える中で第3回目を推進中である。感染症の終息に向けて、油断することなく今後もリスクの予見と細心な対策が極めて重要な取り組みとなる。
- (2) 公金を支出する根拠と理由をその業務の必要性や過去からの踏襲のみで捉え、法令等の基準や解釈を理解していない業務が一部に見られる。コンプライアンスの更なる強化を継続的に推進していく必要がある。
- (3) リスクの中には一定の予算配分や増員が必要であるとして未対策のままになっているものがある。限られた財政状況下であっても財源を投入せずに実行できるリスク対策を考える姿勢が必要である。
- (4) 3点セットの作成によるリスク分析と業務の標準化をさらに進め、業務の引継ぎ資料として認知されるまで一般化させる取り組みを深める必要がある。
- (5) ウインドウズ7（セブン）が使用されているシステムが職場に散在している。順次最新のオペレーティングシステムに移行する必要がある。

10 来年度の取り組み

- (1) 来年度は次の3つの環境が大きな変化点であり、これに伴うリスク対応が主体となる。
 - ア 令和5年4月施行の新個人情報保護法に向けた、個人情報取り扱いの厳格化と体系化。
 - イ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じたリスクの管理。
 - ウ デジタル庁主導による自治体DXの推進に準じたIT化の推進。
- (2) 継続的な取り組みとしてはこれまでの手法を用いながら対策を深めていく。
 - ア リスクの洗い出しと対策（継続）

内部統制の活動初年度から見直しが加えられていないリスクも多く存在する。PDCAの基本に立ち帰り、既に対策済みであるリスクであっても、改めて各担当者がリスクを見直し、対策を深めることを推進する。
 - イ ITシステムのリスクの洗い出しと対策（継続）

本年度作成したITシステムチェックシートをベースとして、課題の抽出と解決策を部門ごとに実践する。
 - ウ 3点セットによる業務の見える化（範囲を拡大して継続）

業務の分析と標準化を拡大するために、業務手順書、業務フロー、リスクコントロールマトリックスの作成に継続して取り組む。
 - エ 実地検証による対策状況のモニタリング（継続）

前記(1)ア、イ(2)ア、イ、ウの取り組みについて実地検証を継続して実施する。特に新個人情報保護法が施行されるにあたって、義務付けられる個人情報ファイル簿等の具備についてはその確認を厳格に行っていく。